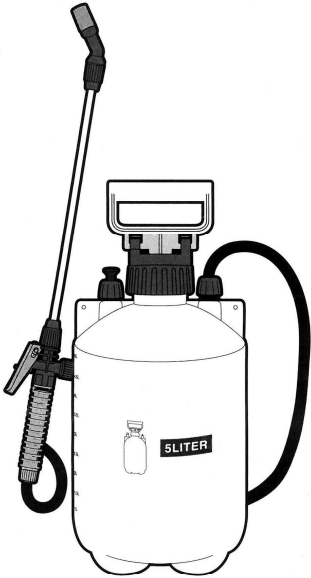


品名 蓄圧式噴霧器 5L
型番 HK09-6700

サイズ(約):幅177×奥行177×高さ420(mm)
材質:ハンドル・ノズル・グリップ/ポリプロピレン 薬剤タンク/ポリエチレン
ホース/ポリ塩化ビニル 噴霧管/ステンレス鋼
容量(約):5L

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
安全にご使用頂くためにご利用になる前はこの説明書をよくお読みになり、使用方法をご理
解の上、正しくご使用ください。お読みになった後は、この説明書を大切に保管ください。



※イラストはイメージです。

各部名称

各部名称と使いかた



※イラストはイメージです。

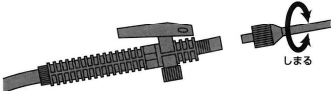
△ 使用上のご注意 (必ずお読みください)

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 使用前に各部のネジ部にゆるみがないか確認してください。
- 使用年数に関わらず、使用環境や使用頻度、薬剤の希釈条件や使用後の保管不備は、本品の劣化を早める原因となります。細かい亀裂が生じたり、変色や異常が出たらだちに使用をやめください。
- 直射日光に当たる場所に長く置くと、本器の材質が劣化し破裂する恐れがあります。
- タンク部にきずをつけたり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。
- 火や高熱のそばに置かないでください。又、お湯を入れないでください。
- 本器は園芸専用噴霧器につき、この目的以外には使用しないでください。強酸性や強アルカリ性、塗料、ベンジン、ガソリン、シンナーなどの溶剤などは絶対に使用しないでください。破裂する恐れがあります。
- 種類の違う薬剤が混合されると危険ですのでおやめください。(上記項目を守らないと、破裂や思わぬ事故をまねく恐れがあります)
- ご使用する薬剤は規定通りに薄めてください。高濃度の薬剤は植物をいため、また本器の性能も損ない、思わぬ事故の原因となります。
- 作業する場合、薬剤の付着や吸入を防ぐため露出部の少ない保護衣を着用してください。
- 噴霧器を持ち運ぶ際は必ずハンドルとポンプがロックされているか確認してください。
- 作業が終了しましたら、ただちに本器の圧力を安全弁より開放してください。
- 使用後はタンクの薬剤を全て抜き、真水で十分に洗い流し乾かしてください。
- 本器の寿命を永く保つため、又パーツの損傷を防ぐため、使用後は必ず真水で1〜2分噴霧して、薬剤を洗い流してください。
- 本器を改造したり本書に説明のない分解や修理はしないでください。
- 薬剤は種類を限定してご使用ください。
- 底着剤入りの薬剤を使用した後は、その都度、必ず真水で数回噴霧し、シリンダー内の液を完全に除去してください。スプレーの目詰まりの原因となります。
- うき霧にならない場合は噴霧口をはずして付着しているゴミを洗い流してください。
- まれに噴霧検査時の水が残っている場合がございますが使用上問題ありません。
- 容器が倒れた状態にあると液漏れする場合がありますのでご注意ください。

使用方法

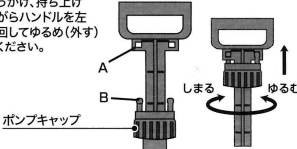
1. ノズルを組み立てる

- ノズルパイプを取り付けます。
- 各部のナットはしっかり締めてください。



＜ポンプキャップをゆるめる場合＞

- つめBにハンドルAをひっかけ、持ち上げながらハンドルを左に回してゆるめ(外す)てください。



2. タンクに薬剤を入れる (使用上のご注意)

- ※前回使用した薬剤が、残っていないか確認してください。化学反応をおこし有毒ガスが発生する危険があります。
- ※ご使用する薬剤は規定通りに調合してください。
- ※薬剤は適切な濃度をお守りください。
- ※濃度の高い薬剤は植物や噴霧器を傷め、タンクの劣化が進みます。
- ※別の容器で、薬剤を十分溶かしてからタンクに入れてください。

溶かす薬剤の目安表

水	薬剤		
	500倍にうすめるとき	1000倍にうすめるとき	2000倍にうすめるとき
1リットル	2cc	1cc	0.5cc
4リットル	8cc	4cc	2cc

※タンクの上限の目盛り以上薬剤を入れないでください。

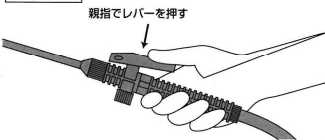
3. ハンドルをタンクに取り付ける

- ハンドルを時計回りにまわし、ポンプキャップをしっかり取り付けてください。
- ハンドルをしっかり持ち、シリンダーピストンを上下垂直に数回動かして加圧をしてください。
- 加圧は一定の硬さになったら止めてください。※安全弁から「シュー」という音がしたら加圧を中止してください。
- 加圧後はハンドルをロックしてください。持ち運びに便利です。

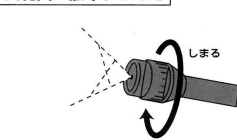
4. 散布する

(使用前には必ず各ジョイント部分のナットをしっかりと締め付けてください)

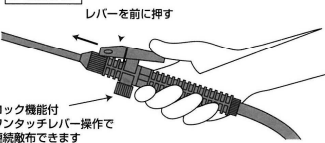
断続散布



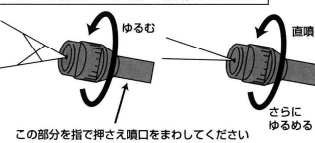
広範囲に散布するとき



連続散布



一定の角度から遠方へ散布するとき



- ※散布の際は薬剤が対象物以外にかからないよう、風向きや周囲の状況に十分注意してください。
- ※除菌剤の散布には、目的の面積以外の幅にかからないように、一定の角度にノズルを調整してください。(他の植物を枯らすことがあります)
- ※霧の勢いが弱くなれば再び加圧してください。
- ※霧が不調の場合は、ノズルキャップをはずして付着しているゴミを洗い流してください。

5. 使用後はタンクの圧力をぬく

- 作業が終わればタンクを立てた状態で「シュー」という音がなくなるまで安全弁押さえを引き、タンク内の圧力を逃がしてください。
- ※破裂する恐れがありますので、加圧した状態のまま放置しないでください。
- ※けがをする危険があるのでポンプキャップなどをはずす際は、必ず先にタンク内の圧力を抜いてください。
- 使用後はタンクの薬剤を全て抜き、真水で十分に洗い流し直射日光の当たらない日陰で乾かしてください。薬剤が残っていると本器の性能を損ない、思わぬ事故の原因となります。
- また、他の薬剤と混ざると危険です。
- 保管時はノズルを取り外し、箱に入れて保管してください。直射日光のあたる場所へ長時間放置しているとタンクが劣化し、破裂する恐れがあります。